

「NISA」をお考えの方は必見

ニーズに合ったNISA活用法をご提案。
三菱UFJモルガン・スタンレー証券

〇〇

センター試験で不正65件 替え玉やカンニング 27年までの10年間 67人が無効処分

2016.1.10 08:19

大学入試センター試験で平成18～27年の10年間に、全国31都府県の試験場で、替え玉受験の2件を含む不正行為が計65件あり、計67人が受験全科目無効の処分となっていたことが9日、大学入試センターへの取材で分かった。センターは、これまで不正行為の状況を公表していなかった。

センターによると、不正行為は毎年見つかっており、内訳は替え玉受験2件のほか、(1)解答終了合図後の記入30件(2)定規の使用13件(3)カンニングペーパーの所持、使用8件など。電子辞書の持ち込みや、英語リスニングの開始前にICプレーヤーを作動させたケースもあった。

替え玉受験のうち1件は20年に東京海洋大の試験場で起きた。高校の女子生徒が、同じ高校の女子生徒が体調不良で途中から欠席すると知り、同意を得た上で、その生徒の受験番号と氏名で「数学(1)」と「数学(2)」の時間に連続して受験した。数学(1)の時間に監督官が、机の上の受験票と解答用紙の受験番号が違うことに気付き、数学(2)の際に退出させた。受験した生徒は「自分は推薦で合格していたが、(相手は)数学が必要なので同情した」と説明した。

もう1件は22年に京都橘大の試験場で数学(2)の時間にあった。同じ高校の男子生徒2人が事前に打ち合わせ、相手の受験番号や氏名を解答用紙に記入するなどして一部の科目を受けたといい、採点時に不正が判明したという。センターは「苦手な科目の点数を良くしようと、どちらかが頼んだとみられる」とした。

替え玉受験は21年に中央大の入試で判明し、1人の合格が取り消されたケースがある。明治大でも3年に、大規模な替え玉受験があったことが明らかになり、元野球部監督らが逮捕される事態となった。

今年のセンター試験は16、17日に実施。センター総務課の伊藤亘課長補佐は「不正は不利益しか招かない。軽率な行為は慎んでほしい」と話した。

■大学入試センター試験

独立行政法人大学入試センターが毎年1月に実施する大学志望者の共通試験。国公立大受験生が対象の共通1次試験を変更し、私立大も参加して平成2年から始まった。今月16、17日に行われる試験の志願者数は56万3767人で、利用する大学・短大は過去最高の850校となっている。文部科学省はセンター試験に替わり、記述式の問題を取り入れた新テストの導入を検討している。

ツイート

おすすめ 31